

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(令和元年度事業分)

1 施設の概要

<b>施設名</b>	山梨県立梨の実寮	<b>所管課</b>	福祉保健部 障害福祉課
<b>所在地</b>	南アルプス市有野4370	<b>設置年月日 (改築年月日等)</b>	昭和53年8月1日
<b>管理方式</b>	社会福祉法人山梨県手をつなぐ親の会		
<b>設置根拠 (法律、条例等)</b>	山梨県立障害者支援施設設置及び管理条例		
<b>設置目的</b>	知的障害者に必要な指導及び訓練を行い、自立した日常生活や社会参加を図るため。		
<b>主な施設内容 (定員等)</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○敷地面積:43,994㎡</li> <li>○建築延面積:2,937.57㎡</li> <li>○建物の構造:鉄筋コンクリート造2階建、鉄骨造平屋建</li> <li>○施設の内容 <ul style="list-style-type: none"> <li>・管理居住棟(鉄筋コンクリート造2階建)1,163.98㎡</li> <li>・作業棟(鉄骨造平屋建)252.00㎡</li> <li>・授産施設棟(しいたけ)(鉄骨造平屋建)1,321.92㎡</li> <li>・短期入所事業用居室(鉄骨造平屋建)81.90㎡</li> <li>・付属棟(倉庫等)(鉄骨造等)117.77㎡</li> </ul> </li> <li>○各障害福祉サービスの定員 <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活介護:52人</li> <li>・短期入所:6人</li> <li>・就労移行支援:6人</li> <li>・就労継続支援B型:12人</li> <li>・施設入所支援:50人</li> </ul> </li> </ul>		
<b>主な業務内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1)施設等の維持保全に関する業務 <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設及び設備器具の維持保全に関する業務を行う。</li> </ul> </li> <li>(2)利用者に対する障害福祉サービス業務 <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活介護、短期入所、就労移行支援、就労継続支援B型及び施設入所支援に係る業務を行う。</li> </ul> </li> </ul>		

2 類似施設・近隣施設

<b>名称 施設内容 利用状況等</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あゆみの家:自立訓練(通所 22人、夜間 20人)、短期入所(2人)</li> <li>・あさひワークホーム:生活介護(38人)、就労移行支援(8人)、就労継続支援B型(34人)、施設入所支援(40人)、短期入所(5人)</li> <li>・あけぼの医療福祉センター成人寮:生活介護(45人)、自立訓練(機能訓練)(15人)、施設入所支援(40人)、短期入所(15人)</li> <li>・育精福祉センター成人寮:生活介護(105人)、短期入所(9人)、施設入所支援(90人)</li> </ul>
------------------------------	---

## 3 利用状況

単位:人、%

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度 (目標値)
利用者数	生活介護	47	48	51	
	短期入所	11	10	7	
	就労移行支援	2	3	4	
	就労継続支援B型	12	10	4	
	施設入所支援	37	39	38	
	利用者数合計	109	110	103	
	目標値	126	126	126	126
	目標値設定の考え方及びその理由	定員を目標値とする。			
	対平成29年度比		100.9%	94.7%	
利用率	86.5%	87.3%	81.9%		

## 4 指定管理業務の収支状況

単位:円、%

		平成30年度	令和元年度 (計画値)	令和元年度 (実績値)	令和2年度 (計画値)
収入	施設利用料	173,092,779	166,316,000	163,538,700	167,565,900
	指定管理者委託料				
	その他	4,391,645	4,170,000	4,964,644	4,656,100
	収入合計(A)	177,484,424	170,486,000	168,503,344	172,222,000
支出	人件費	131,160,434	133,254,000	132,550,032	131,944,000
	県への納付金				
	管理運営費	45,070,611	37,232,000	42,725,181	40,278,000
	うち外部委託費(B)	802,719	841,500	770,218	891,500
支出合計(C)	176,231,045	170,486,000	175,275,213	173,113,500	
収支差額(A-C)	1,253,379		△ 6,771,869		
外部委託比率(B÷C)	0.5%	0.5%	0.4%	0.5%	
利用者一人当たりの経費	1,613,494.8	1,353,063.5	1,632,784.3	1,373,916.7	

5 利用者満足度(アンケート様式は別添のとおり)

<b>実施方法等</b>	実施時期:令和2年2月 実施方法:利用者へのアンケート 回答数: 56名(障害者支援施設利用者)
--------------	--

単位:%

調査項目	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満
日常生活の相談・要望	70.8%	25.0%	4.2%	
個人の秘密の保持	91.5%	8.5%		
食事	94.3%	5.7%		
生活支援(入浴ほか)	80.4%	15.7%	3.9%	
健康管理	75.5%	22.4%		2.1%
買い物・外出等の対応	76.7%	18.6%	4.7%	
設備・管理	76.0%	19.6%	2.2%	2.2%
施設全般の満足度	80.9%	16.4%	2.1%	0.6%

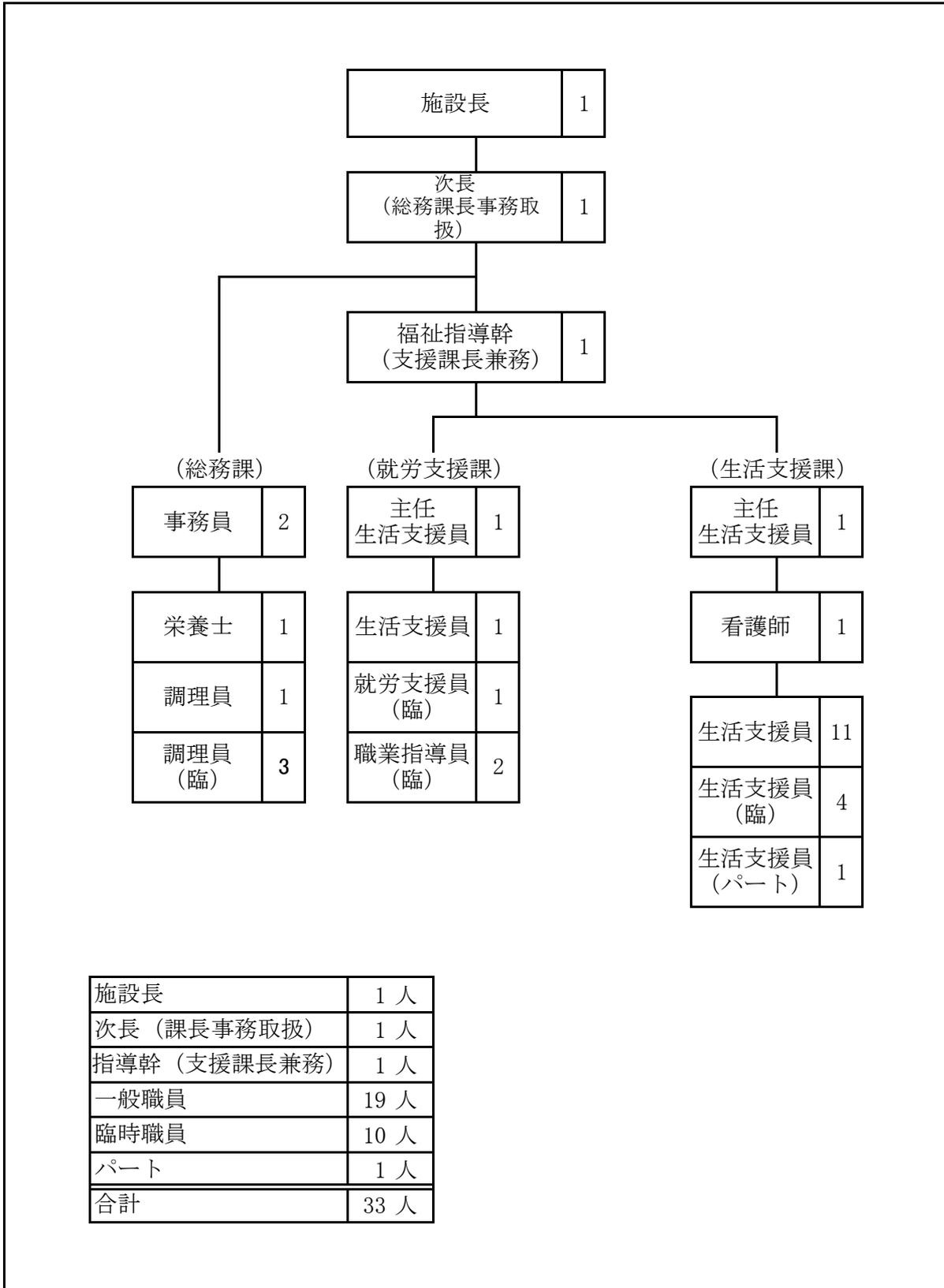
<b>利用者の意見</b>	<p>①希望を言っても自分の思うとおりの対応をしてくれない。職員に時間がなくじっくりと話を聞いてもらえない。</p> <p>②相部屋の為のぞかれたり、ケンカになる。</p> <p>③料理が温かくておいしい。</p> <p>④お風呂が古い。ゆっくり入浴ができない。入浴中ケンカがある。</p> <p>⑤病院が嫌い。</p> <p>⑥もっと外出(旅行・買い物)したい。</p> <p>⑦施設が古くて不便。個室がほしい。段差が多い。階段が怖い。</p>
<b>利用者の意見への対応</b>	<p>①～③利用者の個性に合わせた支援を行い、充実した生活ができるよう取り組んでいく。</p> <p>④入浴中の利用者同士のトラブル・時間をせかされることが不満になっている。入浴中のトラブルはケガ等にもつながるためきちんと対応していき、時間内に入浴できない利用者さんには早めに入浴するように対応していく。</p> <p>⑤病院嫌いな利用者さんもあるが、看護師と連携し対応していく。</p> <p>⑥アンケート調査の時期は、感染症拡大初期段階の時期のため、外出を制限していたことから不満に思う利用者が増えている。利用者の安全に考慮し、できるだけ外出等の機会を増やすよう取り組んでいく。</p> <p>⑦施設の老朽化に関して不満度は毎回高い。利用者の高齢化に伴い階段・段差が怖いとの訴えもあり、バリアフリーでない事も大きな不満になっている。手すり等で対応をしているが、改善できる場所は迅速に対応し生活に不便をかけないようにしたい。</p>

## 6 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	築40年以上の施設ではあるが、利用者が快適な住環境で生活できるよう可能な限り、維持管理に努めた。また、業務仕様書等に基づき、適正に業務を執行した。	業務仕様書、業務計画書どおり適正に実施されている。 施設・設備等の老朽化が目立つことから、利用者の安全や利便性に留意し、保守点検及び日常業務の中で異常が確認された場合は、早急に対応すること。
運営業務	サービス等利用計画に基づき本人の意思を尊重した個別支援計画を作成し、利用者一人一人の状況に合わせた、食事・排せつ・入浴等の介護、相談及び助言、その他日常生活に必要な援助を提供した。	事業計画書に基づき適正に実施されている。今後も引き続き利用者個々の特性に鑑みた個別支援計画を策定し、質の高いサービスの提供のために努力されたい。
利用状況	各サービス事業の年間利用実績から、すべての事業で計画、目標値を下回ってしまった。関係機関との連携を図り利用者の増加を図っていく。	就労移行支援サービスについては、支援学校等へのPRを積極的に行うとともに、関係機関との連携を密に行い、施設利用の促進のために努力されたい。
収支状況	収入においては利用者の死亡や前年度と同様高齢化に伴う、入院や他の施設に移った利用者が増えたため減収となった。また、就労継続B型の利用者数が減ったことも収入減の大きな要因になった。支出においては前年度より支出減になった。	報酬単価の引き下げの影響で、収入が減少したが、安定した施設経営が図られるよう、施設・設備の計画的な修繕及び経費の節減に努めるとともに、利用料収入の確保に努力されたい。
自主事業	日中一時支援事業、共同生活援助について適正に業務を遂行した。 また、生活支援センタークローバーが3年目に入り、指定相談支援、自立生活援助、居宅介護、重度訪問介護、行動援助、移動外出支援の更なる充実を図った。また、南アルプス市と委託契約を結び相談支援専門員を配置した。	自主事業申請(事業計画書)どおり適正に実施されている。 開設した生活支援センタークローバーを活用して支援の質の向上に努力されたい。
利用者満足度	「満足」「どちらかといえば満足」との回答が多く出ている状況ではあるが、少なからず不満の回答もあるので、利用者の意見に耳を傾け利用者の視点に立ったサービスを提供していく。	概ね満足を得られているが、不満と評された項目では利用者の意見に耳を傾けながら、サービス向上のために努力をすること。
運営目標の達成状況	知的障害があり、日常生活の支援が必要な方や一般企業に就職することが困難な方が自立した社会生活を送れるよう、個別支援計画に沿った生活に必要な訓練や職業訓練などを行うとともに、定期的な評価・アセスメントを実施することで、利用者ニーズに合った質の高いサービスを適時に提供できた。 就労系日中サービス事業では利用者の特性に合わせた様々な生産活動を提供するとともに、能力の向上、工賃増額の目標を立てた支援をすることによって、前年度に比べ平均月額工賃を1,500円アップすることができた。	

<p>施設所管課による総合的な評価及び指導事項</p>	<p>施設の老朽化に伴う維持管理についてはその都度改善しており、施設管理・運営業務等については、条例、協定等に基づき概ね適正に履行されている。質の高いサービスを提供しつつ効率的に運営している。利用者ニーズの把握に努め、利用者サービスの向上に努力した。引き続き、受注先の確保を図るなど、就労継続支援B型の工賃向上に努めること。</p>
<p>施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況</p>	<p>引き続き、条例、協定等に基づき適正な施設管理・運営業務に努めていく。サービスの向上と経費削減に努め、安定した施設経営に努めていく。就労継続支援B型事業においては、受注先の確保や販路の拡大により工賃向上に努めるとともに、サービスの質の向上を図っていく。</p>

7 管理体制(組織図)



施設長	1 人
次長 (課長事務取扱)	1 人
指導幹 (支援課長兼務)	1 人
一般職員	19 人
臨時職員	10 人
パート	1 人
合計	33 人